



平成 30 年 3 月 2 日

各 位

会 社 名 東京コスモス電機株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩崎 美樹
(コード番号 6772)
問合せ先 取締役管理本部長 小野沢一実
(TEL 046-253-2111)

特別利益・特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び次の特別損益の発生を踏まえ、平成 30 年 2 月 13 日に公表しました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,400	340	200	120	7.65
今回修正予想 (B)	10,000	380	280	150	9.57
増減額 (B-A)	600	40	80	30	
増減率 (%)	6.4	11.8	40.0	25.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	8,340	431	129	87	5.57

2. 修正の理由

(1) 売上高の連結業績予想について

売上高は、車載用フィルムヒーターや車載用電装部品が前回の通期発表予想に対し増加しており、また広州東高志電子有限公司の生産能力が高まってきましたので、6.4%上方修正しました。なお、想定為替レートは足許実勢水準 (1\$ = 107 円程度) を前提としております。

(2) 利益の連結業績予想について

営業利益は、増収効果と生産効率の改善で新製品立上げ費用の増加を吸収し、380 百万円を見込んでいます。経常利益は、為替差損の発生が予想されますが、増収効果に加え平成 28 年度ものづくり補助金等の営業外収益が見込まれるため、280 百万円を予想しております。当期純利益は、次に述べる特別損益を勘案し 150 百万円を予想しています。

3. 特別利益の計上

当社の連結対象子会社である会津コスモス電機株式会社は、会津若松徳久工業団地に建設した会津第 2 工場建設費用について本日、第 6 次津波・原子力災害被災地域雇用創出企業立地補助金 147 百万円の通知を受けましたので、同額を平成 30 年 3 月期第 4 四半期において、特別利益として計上します。

4、特別損失の計上

当社の連結対象子会社である東高志（香港）有限公司は平成 30 年 3 月期第 4 四半期において、工場閉鎖に伴う事業構造改善費用を計上します。同社は、第 4 四半期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の連結決算において約 HK\$2 百万（約 27 百万円）を特別損失に追加計上します。東高志（香港）有限公司の事業構造改善費用は、第 3 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）において計上済みの 84 百万円と合わせて、通期では約 111 百万円となる見込です。なお、次期以降は工場閉鎖に関連する費用は殆ど発生しない見込みです。

また、当社の国内連結子会社（会津コスモス電機株式会社、白河コスモス電機株式会社、中津コスモス電機株式会社）が加入している「全国電子情報産業厚生年金基金」は平成 30 年 3 月 31 日に解散し、同年 4 月 1 日に新しい年金制度に移行しますが、各社は新しい制度に移行しないため、当社は、平成 30 年 3 月期第 4 四半期（平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の連結決算において、それに係る損失見込額として約 49 百万円を特別損失に計上します。

（注）上記の予想は、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は、経済状況や製品需要の変動、為替相場の変動などによって、本資料の予想とは異なることがありうることを予めご理解下さい。

以 上